

今後の活動に向けて

現在、中央政府主導のトップ・ダウンで「地方創生」が進行するなかで、地域や地区に軸足を置いたボトム・アップ型の地域づくりのあり方が求められています。地域共創センターでは、これまで吉津学長のもと、地域に暮らす人々の視点に立って地域社会や地域経済を豊かにすることに微力ながらも貢献したいと考え、教育や研究と両立する形で地域貢献に努めてきました。しかし、学内の様々な問題や障害によりその役割を果たすことが十分にはできませんでした。今後は、学問的・専門的な知見や方法論を尊重するような大学経営のあり方に本学がどれだけ変わることができるかによって、センターの活動も規定されます。地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

地域共創センター副センター長 水谷 利亮

Information 地域調査研究部門

1. 地域共創研究

■本学教員から企画を募集し、テーマなどを審査して採択しています。本学教員の共同研究を促す制度として唯一のもので、その成果は成果報告会で公開されるとともに、定期刊行物「地域共創センター年報」に論文として掲載され、また山口県大学共同リポジトリ「維新」にてWeb公開もしております。

2. 関門地域共同研究

■北九州市立大学との共同研究です。行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となりました。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。

3. 国際共同研究

■本学と友好交流協定校である青島大学で2004年度から行っていた「国際共同研究」の成果発表としてセンター年報・創刊号で報告しました。また、釜山・東義大学校と国際共同研究を行い、両学で交互にシンポジウムを開催しています。

4. 自主調査研究

■センター発足にあたり、調査研究部門のスタッフは地域調査研究のコーディネーター集団に衣替えしました。コーディネーターが企画し、調査研究プロジェクトを提案します。調査研究スタッフを編成して、調査研究プロジェクトの進行を補助します。

5. 受託調査研究

■地域課題について調査研究の依頼があれば、コーディネーター集団が指導します。また、プロジェクト化の可能性を図り、対応いたします。

6. 自主資料収集

■さまざまな発行物や下関市内商工会文書等の資料収集を進めていきます。

Information 地域教育活動部門

平成28年度開講予定の講座です。企画が出来次第、ご案内します。

市民大学

- 公開講座
- 開放授業
- ・教養総合
- ・地域論

- 出前講座

- テーマ講座

Information アーカイブ部門

地元下関の産業、文化、歴史などに関する史資料の収集、保管、公開をすることで地域貢献をしています。特徴的なのは下関を代表する水産資源である、鯨やふぐの資料を集めた鯨資料室ふぐ資料室を設置していることです。事業者や個人から寄贈していただいた貴重な資料や購入した関連書籍を公開したり、かつて捕鯨に携わった方から聞き取り調査を行いそれを映像化するなど、時の流れとともに散逸していく資料を収集し、地元の方にも余り知られていない情報を留め、後世に残していくこと。それがアーカイブ部門の目的です。今後も様々な情報をシンポジウムや広報誌などで発信していきながら、地域に貢献していきます。

出版物のご案内



地域共創センター年報 Vol.8



関門地域研究 Vol.24



地域共創センターニュースレター Vol.7



資料室だより Vol.4

スタッフのご紹介

□地域調査研究部門 研究員

水谷 利亮 部門長
山川 俊和
佐藤 裕哉
嶋田 崇治
吉武 由彩

□地域教育活動部門 コーディネーター

外戸保 大介 部門長
川野 祐二
萩原 久美子
天野 かおり
吉武 由彩

□アーカイブ部門 研究員

松本 貴 部門長
吉武 由彩

地域共創センターニュースレター

2016
Vol.8

下関市立大学附属地域共創センターは、大学人(法人職員と学生)と地域の方々との協働で地域資産を掘り起こし、地域課題を見出して、その課題解決に取り組むことを目指します。

あいさつ

「地域と共に生きる公立大学」

地域において公立大学の役割は高まっています。公立大学は、自治体と主に地域を支える人材を育成することが求められています。特に、地方においては、雇用・産業育成等の課題が増大しています。下関市での地域経済は、大学生により地域活動やアルバイト等は特に支えられている一面が多分にあると思われます。個の特性は、人口減少社会の中で最大限に活かさなければ地域に再生はありません。一億総活躍時代の一端を下関の地で実現することは、中国と九州を繋げる役割としても重要です。地域共創センターは、地域において人と人を繋げる役割を強化すべきであると考えております。

下関市立大学附属地域共創センター

センター長 難波 利光

スケジュールの詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

地域共創センター ニュースレター

発刊◆2016年3月31日 発行◆下関市立大学附属地域共創センター(本館II棟2階)
〒750-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1 MAIL◆chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp
TEL◆083-254-8613 FAX◆083-253-1622 URL◆http://www.shimonoseki-cu.ac.jp



公立大学法人
下関市立大学
Shimonoseki City University

Shimonoseki City University Institute for Collaborative Community Development Newsletter

●市民大学公開講座

《English Presentation Basics》(全6回 木曜日)
日時：6/4、6/11、6/18、6/25、7/2、7/9 18:30~20:00
講師：ポール コレット特任教員



《ボランティア的行為と想像力》(全1回 金曜日)
日時：7月3日 18:30~20:00
講師：吉武 由彩特任教員

《市民のための科学技術とは何か》(全1回 土曜日)
日時：8月8日 17:00~18:30
講師：川野 祐二教授



《株主総会の現在、過去、未来》(全1回 木曜日)
日時：10月1日 18:30~20:00
講師：久保 佳納子講師

《はじめての韓国語》(全6回 木曜日)
日時：10/8、10/15、10/22、10/29、11/5 10:40~12:10
11/12 10:00~12:10
講師：呉 善善特任教員



《ヨーロッパにおける市民生活の諸相》(全1回 水曜日)
日時：11月11日 18:30~20:00
講師：外戸保 大介准教授

《戦前期関門地域の工業地帯化と流通商品》(全1回 水曜日)
日時：2月17日 18:30~20:00
講師：木村 健二教授、水谷 利亮教授、佐藤 裕哉准教授

●開放授業

《人事労務管理論》(全1回 木曜日)
日時：7月16日 10:40~12:10
招聘講師：林 裕子 山口大学特命教授 【萩原 久美子教授】



《教養総合B 地域の生活と仕事》(全15回 月曜日)
日時：9月28日~H28年1月25日 16:30~18:00
講師：西田 光一教授 他

《地域論》(全15回 月曜日)
日時：9月28日~H28年1月25日 16:30~18:00
講師：外戸保 大介准教授

●市民大学出前講座

《地理写真、地図、地域データから下関、豊田をみる》
日時：6月27日(土) 10:00~11:30
場所：豊田町西市民館 研修室
講師：佐藤 裕哉准教授



●下関市生涯学習まちづくり出前講座

《モチベーション論》
日時：9月13日(日) 14:00~15:00
場所：後田ふれあいプラザ
講師：村田 和博教授



●市民大学テーマ講座

《地方創生に必要なこと~下関市地域活性化の可能性~》
日時：11月8日(日) 13:00~16:00
場所：下関市立大学 A棟1階 A-101教室
講師：安倍 昭恵(株式会社YMFZ ZONEプランニング顧問、首相夫人)
「下関での農業やゲストハウスによる地域活性化」
阿部 真一(長野県佐久市岩村田本町商店街振興組合理事長)
「地域密着顧客創造型商店街」
堤 晋一(音楽プロデューサー)
「音楽による地域での取り組み」
中村 良平(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)
「地方創生におけるまちの「稼ぐ力と雇用力」」
吉津 直樹(下関市立大学学長)
「下関市と長門市における都市・農村交流」



パネルディスカッション

コーディネーター：難波 利光(下関市立大学教授)

●下関未来大学

【A 地域創生学科】
日時：6月7日(日)~10月29日(木) 18:30~20:00 全10回

【B 企業と起業学科】
日時：6月7日(日)~10月20日(火) 18:30~20:00 全10回

【C まちづくり・ひとづくり学科】
日時：6月7日(日)~10月28日(水) 18:30~20:00 全10回



●下関ユースカレッジ(中高生夏期大学)~郷土について学ぼう~

日時：8月18日(火)~8月20日(木) 全9回

現地見学：8月19日(水) 9:00~15:00
・日本銀行下関支店
「にちぎんしものせき」の仕事を学ぼう
・下関市議会
「市議会議場を体験し、議会のしくみを学ぼう」
・九州地方整備局下関港湾空港技術調査事務所
「さまざまな沿岸災害から港を守るには」



●地域インターンシップ関連

《集落営農組織活動の水稲の種まき支援ボランティア》
日時：5月9日(土)
場所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、学生5名

《ICT講習会》
日時：11月22日(日)
場所：豊北中学校・栗野小学校
参加者：道盛 誠一教授、学生2名

《集落営農組織活動の田植え支援ボランティア》
日時：5月30日(土)
場所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、学生6名

《もちつき体験への協力》
日時：12月13日(日)
場所：菊川町善井地区「真和の里」
参加者：吉津 直樹学長、学生26名

《田植え・芋植え体験への協力》
日時：5月31日(日)
場所：菊川町善井地区「真和の里」
参加者：松本 松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、学生4名

《もちつき体験への協力》
日時：12月26日(土)
場所：菊川町「歌野清流庵」
参加者：松本 貴文講師、学生3名

《豊北を視る、知るツアー》
日時：6月6日(土)
場所：豊北町北浦
参加者：道盛 誠一教授、学生14名、一般5名

《ICT講習会》
日時：12月27日(日)
場所：豊北町栗野
参加者：道盛 誠一教授、学生3名

《集落営農組織活動の草取り等の支援ボランティア》
日時：7月11日(土)
場所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、学生6名



《そばまき体験への協力》
日時：8月10日(月)
場所：菊川町善井地区「真和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、学生8名



《集落営農組織活動の稲刈り等の支援ボランティア》
日時：10月3日(土)
場所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：吉武 由彩特任教員、学生5名

《稲刈り体験への協力》
日時：10月4日(日)
場所：菊川町善井地区「真和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、学生4名



《集落営農組織活動の支援ボランティア「収穫祭」》
日時：10月17日(土)
場所：豊田農業公園みりの丘周辺
参加者：松本 貴文講師、学生4名

《栗野ICT講習 豊北ミニ探訪を兼ねる》
日時：10月25日(日)
場所：豊北中学校
参加者：道盛 誠一教授、学生3名

《芋ほりボランティア》
日時：11月1日(日)
場所：菊川町善井地区「真和の里」
参加者：松本 貴文講師、吉武 由彩特任教員、学生26名



●平成27年度 地域共創研究報告会

日時：6月4日(木) 16:30~17:30
テーマ：関門地域立地企業の地域的展開に関する研究
場所：下関市立大学 本館3階 II-301教室
報告者：外戸保 大介准教授、難波 利光教授



●関門地域共同研究会 成果報告会

日時：6月11日(木) 14:00~16:00
場所：西日本総合展示場新館(AIMビル)3階 314・315会議室
報告者：1. 再生可能エネルギー普及に関わる地域的問題
山川 俊和(下関市立大学 国際商学科 准教授)
藤谷 岳(久留米大学経済学部 専任講師)
2. 新たな広域連携モデル構築事業にみる自治体連携の分析：序論
水谷 利亮(下関市立大学 公共マネジメント学科 教授)
3. 関門地域における公共施設の相互利用に関する調査研究
宮下 量久(北九州市立大学 都市政策研究所 准教授)



ミニシンポジウム「今後の新たな関門連携に向けた展望」
パネリスト：【産 業・金 融】宗近 孝憲(一般財団法人山口経済研究所 調査研究部長)
【大 学】木沢 誠名(西南学院大学観光文化学科 准教授)
【官 庁】徳山 幸弥(北九州市産業経済局観光にぎわい部門司港シロ口課 係長)
【言 論】橋本 みほ(カモンFMパーソナリティ)
【関門地域共同研究会】水谷 利亮(下関市立大学経済学部 教授)
宮下 量久(北九州市立大学都市政策研究所 准教授)

コーディネーター：南 博(北九州市立大学都市政策研究所 准教授)

開催場所：下関市立大学 本館3階 II-301教室

★第1回★ 5月27日(水) 17:30~19:00
「献血行動の社会的分析」
講 師：吉武 由彩特任教員



「1970年代ドイツにおける財政危機克服の試み
—社会国家再編と相対的財政健全性—」
講 師：嶋田 崇治講師

★第2回★ 6月24日(水) 17:30~19:00
「環境・自然資源と貿易の国際政治経済学：国内研修報告を兼ねて」
講 師：山川 俊和准教授



「地理学から原爆災害へのアプローチ」
講 師：佐藤 裕哉准教授

★第3回★ 12月16日(水) 18:00~19:00
「煎茶の中興の祖、売茶翁に見る在子の影響」
講 師：馬 叢巖特任教員

●第8回 鯨資料室シンポジウム

日時：10月31日(土) 13:30~15:50
場所：下関市立大学本館II棟 5階大会議室
テーマ：マルハ創業者・中部幾次郎と戦前の南氷洋捕鯨を巡る
~中部家資料を中心に~



プログラム：
第1部 報告
片山 俊夫(明石市立魚住東中学校 教諭)
「中部幾次郎~明石から「朝鮮へ」~」
岸本 充弘(下関市立大学附属地域共創センター 委嘱研究員)
「中部家資料から見えてくるもの
~林業商店の黎明期を視野に~」

第2部 シンポジウム
鼎談「マルハ創業者・中部幾次郎と戦前の南氷洋捕鯨を巡る
~中部家資料を中心に~」



パネリスト：片山 俊夫(明石市立魚住東中学校 教諭)
佐藤 嘉孝(山口県立宇部高等学校 教諭)
コーディネーター：
岸本 充弘(下関市立大学附属地域共創センター 委嘱研究員)